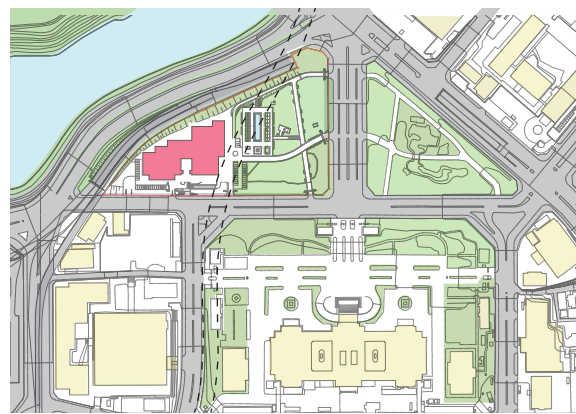
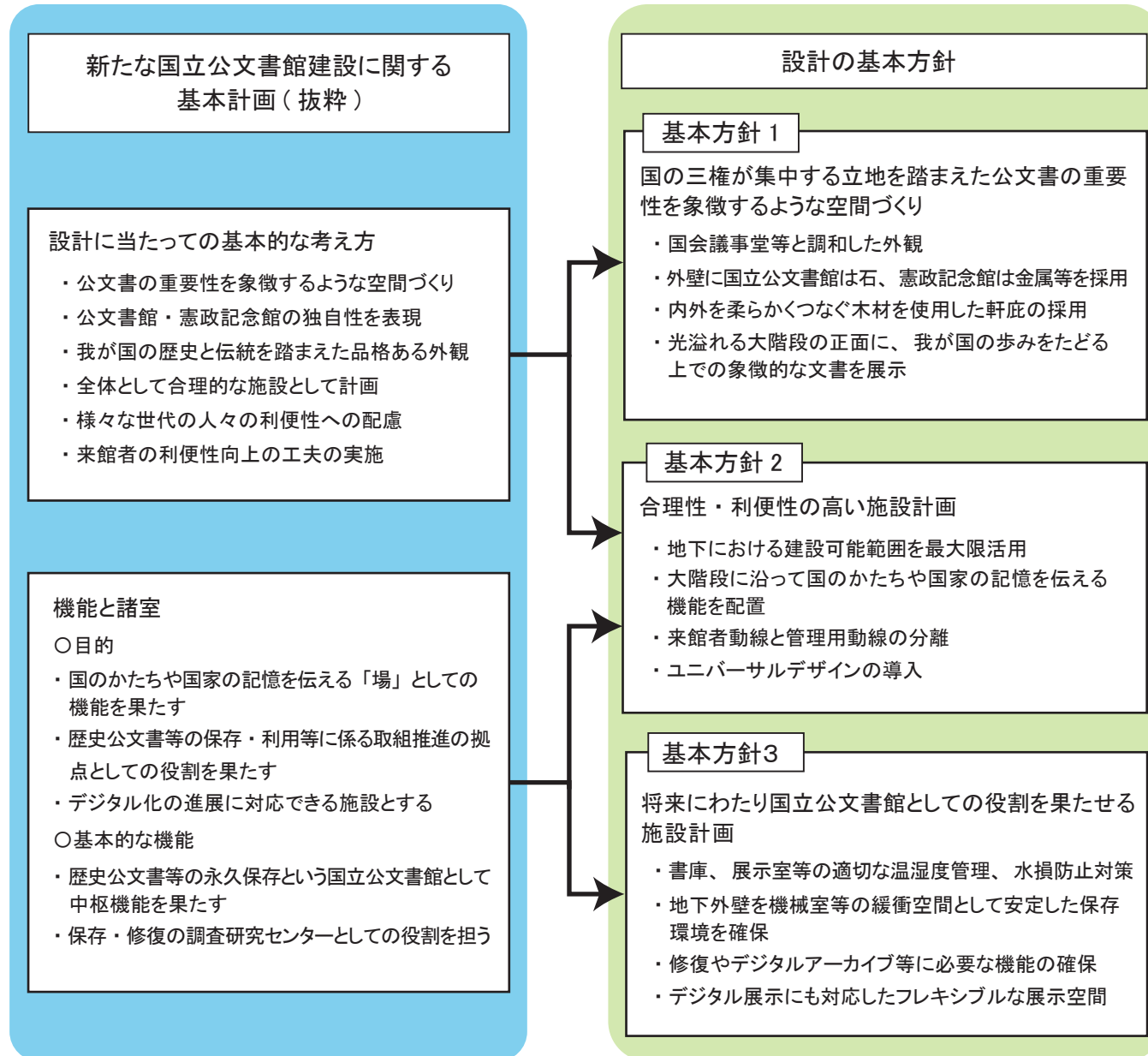


新たな国立公文書館 保存・利用に係るゾーニング・動線計画等について

■ 新たな国立公文書館 設計概要

新たな国立公文書館の設計にあたっては、「新たな国立公文書館建設に関する基本計画(平成30年3月30日内閣府特命担当大臣決定)」を踏まえ、国のかたちや国家の記憶を伝え将来につなぐ「場」としての機能を果たすこと、及び民主主義の根幹を支える知的資源である歴史公文書等の保存・利用等に係る取り組み推進の拠点としての役割を果たすことを実現するため、①国の三権が集中する立地を踏まえた公文書の重要性を象徴するような空間づくり、②合理性・利便性の高い施設計画、③将来にわたり国立公文書館としての役割を果たせる施設計画を基本方針として計画する。



配置図 S=1:10000

事業概要

建設予定地：東京都千代田区永田町(憲政記念館を含む国会前庭)
 構造・規模：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地上3階地下4階建
 延べ面積：約42,460㎡(憲政記念館を含む)



両館西側外観(イメージ)



地下4階の書庫を眺める(イメージ)



エントランスホールから来館者用スペースを眺める(イメージ)